



# さわ けん 通信

## (温かいまちづくり)

子どもからお年寄りまで

安心して生きがいを持って暮らせる

赤磐市を目指して

平成28年2月発行

議員になり2年9か月になり、今回は今まで執行部に提案して実現した主な内容を、私が市議会議員立候補時の公約（私のHPにあります）の項目に従ってお伝えしたいと思います。

## I. 子育て支援

### 1. 障がい児の早期支援の体制づくり（H27年4月～）

発達障がい児が療育を受けるには、専門家の療育が必要という意見書が要ります。本市では、数少ない児童精神科医の意見書のみの採用だったため、意見書作成まで8か月程度かかり、早期療育ができませんでした。そこで、赤磐市内小児科医の先生が意見書を書く仕組みを提案・実現したことで、早期療育が可能になりました。障がい児のケアをされているNPOの方からは、「画期的な仕組みであり、大勢の子どもとお母さんが救われた」と感謝いただいています。

### 2. 放課後児童クラブ使用料減免制度条例改正（吉井地区で実施：H27年4月～）

放課後児童クラブ（学童保育）では、1か月6千円程度（夏休みは1万2千円）の使用料が負担となることもあり、一人親で就学援助を受けている子供たちが十分利用できていません。放課後児童クラブは、生活リズムを安定させ、学力向上にも繋がる重要な場所です。そこで、今年度から吉井にある赤磐市が直接運営する二つの放課後児童クラブの使用料について、一人親非課税世帯は半額、多子世帯の二人目から半額、生活保護世帯は全額免除としました。実際多くの子ども（吉井の児童クラブを利用している子どもの30%程度）がこの仕組みを利用しています。今後、この仕組みが赤磐市全域の放課後児童クラブに広がるように頑張ります。

## II. 教育

### 1. 学力低位層（いわゆる「しんどい層」）の底上げの数値目標設定（H26年9月～）

全国学力学習状況調査で、基礎的A問題の正答率40%以下の生徒の割合（%）を、H25年度に比べ、小学校で2%、中学校で4%減らす目標を設定。基礎学力をつけることの徹底を赤磐市全体の小学校・中学校で実施しています。

### 2. 山陽西小学校学校支援地域本部の設立支援（H26年4月～）

公民館（山陽公民館）が学校支援地域本部に加わることで、地域と学校の連携が増す新しい仕組みを提案・実施しました。

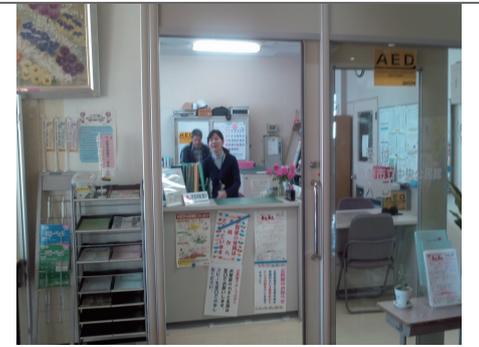
### Ⅲ. ふれあい・助け合い

#### 1. 桜が丘いきいき交流センター（以下「交流センター」という）の改革

住民のふれあい・助け合いに必要な公民館が、桜が丘地区にありません。このため、交流センターが公民館の役割もになう仕組みに変えています。この仕組みの変更は、多くの住民の方の賛同と協力があってはじめて可能になっています。

- (1) 公民館的事業の担当者の配置（平成27年9月～）
  - ・交流センターだよりの発行（H27年12月～）
  - ・交流センター主催の住民講座（H28年3月～予定）
- (2) 交流センターの飲食禁止解除（H26年4月～）
- (3) 大ホールでイベントを多く開催できるように、毎月最終日曜日はイベントを優先にしました。

レイアウト変更した中央公民館受付窓口



#### 2. 公民館のレイアウトの変更（H26.8～）

公民館職員と市民（利用者）がよりふれあえるように、中央公民館と熊山公民館のレイアウト変更をしました。

### Ⅳ. 医療・介護等のネットワーク

#### 1. 赤磐市総合事業勉強会開催（10回開催：H25年11月～H27年9月）

介護保険制度の変更でH29年度から要支援の通所介護・訪問介護が介護保険（給付）から外れ、今後地域の助け合い（総合事業）で支えていく必要があります。このため福祉の専門家・地域の代表が集まり、赤磐市としてのあるべき姿を勉強。赤磐市全域で助け合いが必要になってくるので、自治会などの地縁組織が主体となり、助け合いの仕組みを作る必要がある事等を第6期介護保険計画（H27～H29年度）に提案し、採用されました。

#### 2. 熊山新診療所の事業計画書（ビジョン）の作成（H27年2月）

地域医療の要となり、しかも効率的な運営をするための事業計画を新診療所の協力もいただき作成。地域医療サービス充実を明確化し、また、H27～31年度の収支計画も作成し、H26年度決算に比較して、H27年度予算は、3千万円以上の収支改善がなされました。

### Ⅴ. その他

#### 1. 市の広報紙（広報「あかいわ」）・封筒・ホームページへの広告掲載（H26年4月～）

赤磐市の財政が厳しい中で、市の広報誌などに民間の広告を載せて、赤磐市として収入を得るようにしました。広告収入が順調に入ってきています。

#### 2. 赤磐市公共下水道整備計画（H27年～H36年）の作成（H27年2月）

計画的に下水道整備を進めるべきと提案したのに応えて、市は10年間の公共下水道整備計画を作りました。しかし、既にできている下水道の維持更新を行う計画はなく、新たな敷設のみの内容になっており、非常に偏った不十分な計画となっています。

数々の提案を受け入れ、具体的な施策にいただいた市長を始め、市職員の方には、深い感謝の意を表したいと思います。

発行元 さわ けん（澤 健） 赤磐市桜が丘東4-4-242 TEL : 086-995-3820

さわけんHP <http://www.sawaken-smile.com/> （「さわけん」で検索してください）

facebook でも日々の活動を書いています。是非赤磐市の方は「澤 健に友達リクエスト」をお願いします。